

ポリスチレン 受払表

日本スチレン工業会

2007年(平成19年)9月

単位:t

	当月実績	前月比	前年 同月比
繰越在庫	112,328	114	129
生産	74,917	93	92
出荷	内需	71,286	112
	輸出	4,039	140
	計	75,325	113
月末在庫	111,920	100	142

内需内訳	当月実績	前月比	前年 同月比
電機工業用	17,815	111	99
包装用	30,931	113	92
雑貨産業用	9,507	118	57
FS用	13,033	108	67
合計	71,286	112	81

2006年(平成19年)7-9月

単位:t

	当期実績	前期比	前年 同期比
繰越在庫	94,079	92	118
生産	234,144	102	97
出荷	内需	206,258	91
	輸出	10,045	95
	計	216,303	91
月末在庫	111,920	119	142

内需内訳	当期実績	前期比	前年 同期比
電機工業用	52,241	100	108
包装用	89,493	89	95
雑貨産業用	26,255	81	60
FS用	38,269	91	76
合計	206,258	91	87

スチレンモノマー 受払表

日本スチレン工業会

2007年(平成19年)9月

単位:t

	当月実績	前月比	前年 同月比	
繰越在庫	103,280	119	138	
生産	273,648	86	108	
出荷	内需	169,740	97	96
	輸出	125,026	92	150
	計	294,766	95	113
月末在庫	89,760	87	113	

内需内訳	当月実績
GP・HI	72,571
EPS	13,902
AS	4,495
合成ゴム	15,099
不飽和 ポリエステル	3,659
ABS	27,119
その他	32,895
合計	169,740

2007年(平成19年)7-9月

単位:t

	今期実績	前期比	前年 同期比	
繰越在庫	74,508	69	95	
生産	917,617	108	106	
出荷	内需	519,443	109	100
	輸出	396,969	96	111
	計	916,412	103	104
月末在庫	89,760	120	113	

内需内訳	今期実績
GP・HI	231,888
EPS	44,352
AS	16,032
合成ゴム	48,705
不飽和 ポリエステル	9,380
ABS	82,670
その他	86,416
合計	519,443

2007年10月16日(火)

PSの2007年9月度、7～9月期の実績概況

PS 2007年9月度

生産は、前年同月比-8%である。定修2社(前年9月は定修なし)であり、定修差がマイナスの主因である。

内需は前年同月比-19%となった。但し前年9月は先行出荷があり、今年9月の見かけの大幅減となっている。実勢は通常年に比して数%程度のマイナスと推定される。不需求月の前8月比では+12%で一応の季節的立上りは示している。用途別では電機・工業用が-1%とほぼ前年並み、特にデジタル家電向けは堅調が続いている。

包装用等は前年同月実績が過大であったもの。但し包装用で今夏は極度の猛暑で最終製品の動き鈍化、FS用で建築関連の着工遅れなど、一部は実体も反映。

輸出はウエイトが低いが、特定需要層のアジア向けにプラスが続いている。

出荷計は内需の減により-16%となった。

在庫は増加しているが、10月にも定修を控え特に問題はない。

PS 2007年7～9月期

生産は前年同期比-3%で大きな変動はない。

内需は前年同期比-13%となっているが、前年7～9月期には先行出荷があったため実勢は数%マイナスと推定される。

電機・工業用はデジタル家電関連が伸び、事務機等も安定。包装用はHIシート等が堅調。FS用は不振。

輸出は数量的には小さいが、アジア向けの伸びで増加している。

出荷計は国内のマイナスを主因として前年同期比-11%となっている。

在庫は前期末に比しても増加しているが、今年は全般に定修が多いため特に問題はない。

SM の 2007 年 9 月度、7～9 月期の実績概況

SM 2007 年 9 月度

生産は前年同月比+8%となった。定修は 1 社で高稼働率を維持している。

内需は主用途の PS の生産が定修のためやや低水準、EPS その他も低調で、前年同月比-4%となっている。

輸出はアジア市場向けに高水準が続いている。前年同月比+50%は、前年 9 月の輸出が特殊事情で少なかったことによるものである。

出荷計も高水準で、前年同月比+13%となった。

在庫は前月比減少、0.3 ヶ月の水準である。

SM 2007 年 7～9 月期

生産は前年同期比+6%。今年は定修が少ない年にあたり、年初から前年回る生産が続いている。

内需は主用途 PS の生産と同傾向、EPS 他の用途も特に変わりなく、前年同期比 0%である。

輸出はアジア需要の堅調、また今年は供給力もあり、前年同期比+11%と好調である。

出荷計は輸出のプラスが効いて前年同期比+4%となっている。

在庫は年初 2～3 月の 10 万トﾝ台から減少し、9 万トﾝ程度。定修前としてはやや低レベルで推移している。

以上